

# 千葉県感染症発生動向調査情報

2018年 第12週 (3/19-3/25) の発生は？

## 1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		12週	11週	10週	9週
上段:患者数	小児科	18	18	18	18
下段:定点当たりの患者数	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	28	28	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは報告患者数/報告定点数。

定点	感染症名	千葉県					千葉県 3/12-3/18 11週
		注意報	3/19-3/25	3/12-3/18	3/5-3/11	2/26-3/4	
			12週	11週	10週	9週	
小児科	RSウイルス感染症		1	2	1	2	20
	咽頭結膜熱		0	0	0	0	21
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	36	51	43	35	385
	感染性胃腸炎		81	87	60	79	528
	水痘		3	1	0	2	33
	手足口病		1	1	0	0	4
	伝染性紅斑		1	0	2	1	9
	突発性発しん		3	6	9	5	48
	ヘルパンギーナ		0	0	0	0	3
	流行性耳下腺炎		3	2	1	2	17
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		94	159	232	335	1,371
眼科	急性出血性結膜炎		0	0	0	0	1
	流行性角結膜炎		0	0	0	0	20
基幹定点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0	0	0	0	0
	無菌性髄膜炎		0	0	0	0	0
	マイコプラズマ肺炎		0	1	0	0	1
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0	0	0	0	2
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0	0	1	0	0

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

## 2 全数報告対象疾患(3件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	80歳代	病原体等の検出等	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	女性	70歳代	細菌の検出及び薬剤耐性の確認
百日咳	男性	10歳未満	病原体遺伝子の検出				

・第12週は、結核1件(48)、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(5)、百日咳1件(13)の報告があった。

※ ()内は2018年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

## 定点当たり報告数 第12週のコメント

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎> 前週より減少し2.00となった。過去10年の同時期と比べるとやや少なめ。

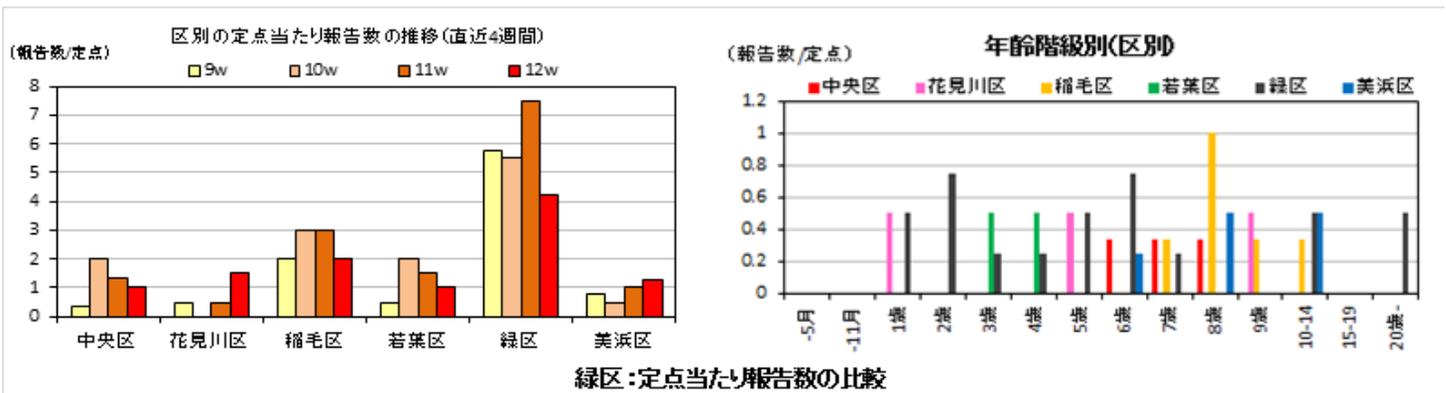
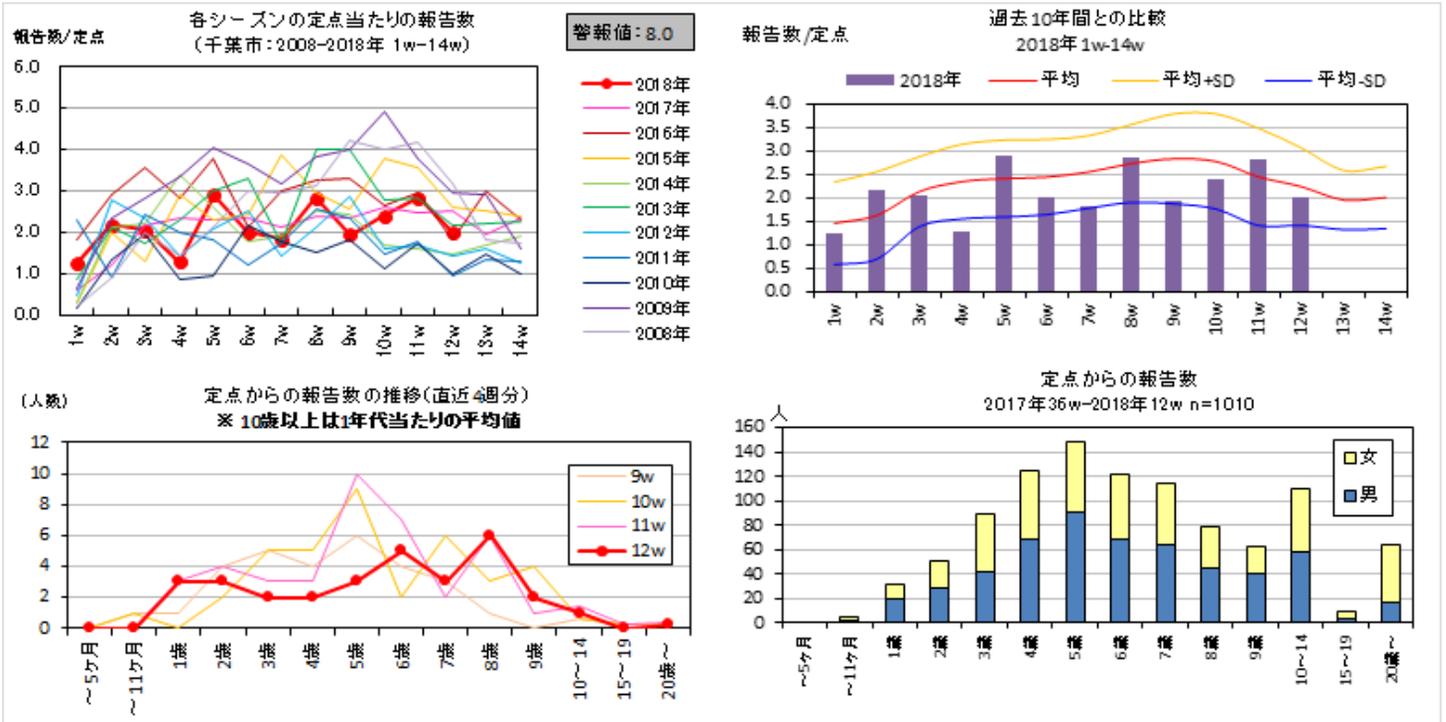
■ トピック ■

<A群溶血性レンサ球菌咽頭炎>

全国レベルの第11週は、過去10年の同時期と比べると多くなっています。都道府県別では石川県、鳥取県、北海道の順で多く報告されています。千葉県は全国レベルとほぼ同レベルとなっています。

千葉市の2018年第12週は前週より減少し2.00となりました。過去10年の同時期と比べるとやや少なめです。区別の発生状況は、緑区(4.25/定点)で最多で、同区の2歳及び6歳で最も多く発生報告がありました。緑区では過去10年の同時期と比べると第2週から高い水準で連続して推移しています。区別に年齢階級別でみると、緑区では1歳から6歳くらいまでの低年齢層に集中していることに対して、稲毛区では7歳以上の比較的高い年齢層に集中しています。

今シーズンである2017年第36週から2018年第12週までの累積報告数(n=1010)によると、性別では男性が54.6%(545名)、女性が45.4%(465名)で、年齢階級別では5歳(14.7%:148名)、4歳(12.4%:125名)、6歳(12.1%:122名)の順に多くなっています。



緑区:定点当たり報告数の比較

